# 令和元年度 附带施設農場業務報告

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター技術部 農場グループ

# 施設園芸チーム

# 加藤 元保

附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場

### 概要

主として養液栽培、養液土耕栽培による果菜 類の栽培管理を行い、それらを実習に供した. また地域貢献の一環で野菜苗生産販売, 中学生 の職場体験, 夏休みこども体験学習, 保育園の 野菜栽培指導などに協力した.

#### 総括

各施設の管理状況を第1表に示した.

- (1) 二次育苗用の育苗温室において、栽培生 産・実習用、販売用、保育園提供用の全て の野菜苗の育苗管理を行った.
- (2) 土耕温室ではピーマン栽培を行った. 地元中学生のインターンシップ期間中に 一連の定植作業を体験させ、後日その収穫 物を成果として提供した.

栽培途中から株の大半が萎縮、茎葉が叢 生状態となるモザイク病症状となり、収穫 に影響した.

(3)旧ミスト耕温室では前期・後期の2回ミ (7)西圃場(旧水耕温室跡地)は休耕地とし、 ニトマト自主栽培実習を行った. 前期は温室内の高温対策として. ミスト

ノズルと工場扇を昨年度より早い時期から 稼働させたことにより、実習終了後8月の 「夏休みこども体験学習」のミニトマト収 穫体験まで樹勢を比較的良好な状態で維持 できた.

後期には施設の一画に無機、有機の各種 培地を充填したコンテナを置き、養液栽培 実習に対応した.

- (4) 礫耕温室は大玉トマトの冬期無加温栽培 に取り組んだ. 出荷不適な果実は. 加工チー ムにジャム加工用として供出した.
- (5) 旧ミスト繁殖温室では野菜セルトレイ苗 の一次育苗と養液礫耕定植用のトマト苗を 管理した.
- (6) 旧林産温室ではナスの栽培を行った. 8 月中には他の施設の作業も集中することか ら防除に手が回らず、ダニ類の多発を許し てしまった。
- 今年度は使用を中止した.

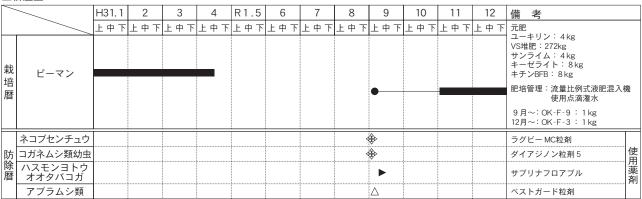
#### 第1表. 温室・圃場の栽培管理状況

#### 育苗温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考:二次育苗
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	底面給水ベンチ自動潅水
栽					o-o- <b>—</b>									ナス,ピーマン,トマト,ミニトマト, キュウリ,カボチャ,ズッキーニ, メロン,オクラ,ハーブ
培	野菜苗 (ポット)								0—					土耕温室用ピーマン 旧ミスト耕温室用ミニトマト
暦									0-					キャベツ, カリフラワー, ブロッコリ, メキャベツ, ケール, コールラビ, レタス, ハクサイ, ハーブ

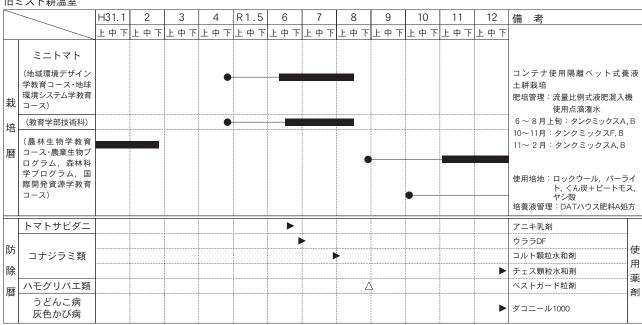
凡例 ○移植 ■■出荷

#### 土耕温室



凡例 ●定植 ■■収穫期 ◆全面土壌混和 △植穴処理土壌混和 ▶散布

#### 旧ミスト耕温室



凡例 ●定植 ■■ 収穫期 ▶ 散布 △ 植穴処理土壌混和

## 礫耕温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	十中十	上中下	上中下	上中下	養液礫耕栽培方式 17m×8ベッ	ット
栽														培養液管理:OATハウス肥料 B, C, SA, SC処方	ī
培	トマト								•					1月~3月:B処方 4月~5月上旬:B処方 5月中旬~7月:SA処方 8月~10月中旬:SC処方	
暦														10月中旬~11月:C 処方 12月~: B 処方	
							<b>•</b>							ディアナSC	
防力	コナジラミ類						<b>&gt;</b>							ベストガード水溶剤	使
防除曆													<b>•</b>	コルト顆粒水和剤	用薬
	うどんこ病 灰色かび病													ダコニール1000	剤

凡例 ●定植 ■■ 収穫期 ▶ 散布

## 旧ミスト繁殖温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考:発芽床,一次育苗
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下		
栽培暦	野菜苗 (セル苗)							\$ \$						ナス、ビーマン、トマト、ミニトマト、 キュウリ、カボチャ、ズッキーニ、 メロン、オクラ、ハーブ 礫耕温室用トマト 旧ミスト耕温室用ミニトマト 土耕温室用ピーマン キャベツ、カリフラワー、ブロッコリ、 メキャベツ、ケール、コールラビ、 レタス、ハクサイ、ハーブ
防除暦	コナジラミ類								Į.					ベリマークSC 使用   (礫耕温室用トマト) 薬剤

凡例 ☆播種 ○移植 ●定植 ■■ 収穫期 ▶散布 ■灌注

## 旧林産温室

		H31.1	2	3	4	R1.5	6	7	8	9	10	11	12	備考:面積105㎡	
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	土耕栽培、全面マルチ	
栽														元肥 スミカエースCR10:4.2kg ニーム核油粕:3 kg ユーキリン:1 kg	
培	ナス					•								VS堆肥: 51kg サンライム: 3 kg キーゼライト 5 kg キチンBFB: 3 kg	
暦														腐植力: 1.6kg サンゼオン豊土: 1.6 kg	
	ハモグリバエ類					Δ								アルバリン粒剤	
防	チャノホコリダニ						•							アニキ乳剤	使
	チャノホコリダニ幼虫							<b>•</b>						アプロード水和剤	
除	+ -/ / 2 - *5						<b>&gt;</b>							アディオン乳剤	1,,,
	カメムシ類							<b>&gt;</b>						アルバリン顆粒水溶剤	薬
暦	コナジラミ類							<b>&gt;</b>						ウララDF	剤
	ネコブセンチュウ					- ♦								ラグビー MC粒剤	

凡例 ●定植 ■■ 収穫期 ▶ 散布 ◆ 全面土壌混和 △ 植穴処理土壌混和